

大口需要電力実績(7月)

157,927千kwh(前年同月比6.5%増)と2か月ぶりに前年を上回り、鉱工業もパルプ・紙等が増加し7.7%増加した。

青果物卸売量(8月、鳥取市場)

野菜が1,368t(前年同月比2.1%減)と2か月ぶりに前年を下回り、果実も1,027t(前年同月比8.5%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

漁獲量(8月、境港)

4,625t(前年同月比11.6%減)と3か月続いて前年を下回った。

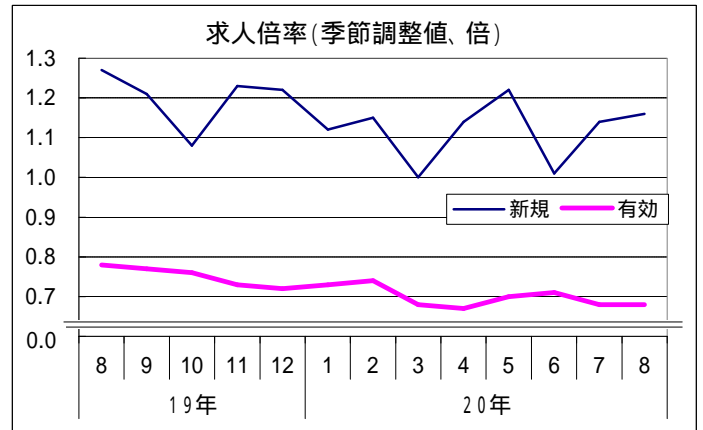
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(8月)

1.16倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.11ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,640人(前年同月比16.3%減)と11か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(8月)

0.68倍(前月と同水準、前年同月差0.10ポイント低下)と28か月続いて0.8倍を割っている。



現金給与総額(7月)

364,620円(前年同月比3.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、252,674円(前年同月比0.4%増)で6か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(7月)

9.5時間(前年同月比5.6%増)と6か月続いて前年を上回った。主力の製造業は5.3%減となった。産業別の前年同月比では、運輸業(前年同月比38.5%増)等で前年を上回り、建設業(前年同月比24.5%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(7月末)

預金残高は、1兆8,847億円(前年同月比0.3%減)と3か月ぶりに前年を下回り、貸出金残高は、1兆1,262億円(前年同月比1.4%減)と23か月続いて前年を下回った。

参考

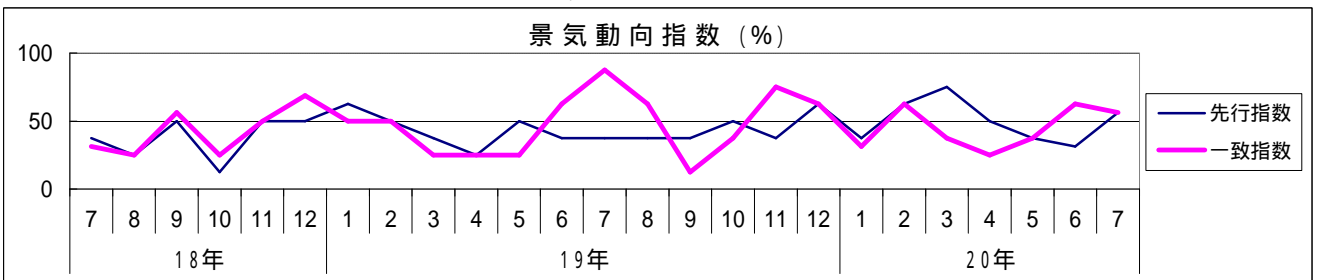
鳥取県景気動向指数(7月)

先行指数56.3%、一致指数56.3%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は4か月ぶりに50%を上回った。

一致指数は2か月続いて50%を上回った。

遅行指数は3か月続いて50%を上回った。



企業倒産(8月)

件数は8件(前年同月比300.0%増)で3か月続いて前年を上回り、負債総額は11億1,800万円(前年同月比365.8%増)で4か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(8月、鳥取市、総合、平成17年=100)

102.8となり、前月比(0.3%上昇)は6か月続いて上昇し、前年同月比(2.7%上昇)は10か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(9月1日現在)

595,184人で、前月と比べて99人(0.02%)減少し、前年同月と比べて4,851人(0.81%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年8月調査)

平成20年7～9月期は、平成20年4～6月期に比べると景気、経常利益はきわめて不調であり、売上高は不調である。

平成20年10～12月期は、平成20年7～9月期に比べると景気、経常利益はやや不調となり、売上高はやや好調となる見通しとなっている。